

**製品名: TTF1 (11V4) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe19398**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200
分子量	39kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NKX2-1
別名	BCH; BHC; NK2; NKX2.1; NKX2A; TEBP; Thyroid nuclear factor 1; Tinman; TITF1; TTF1;
遺伝子 ID	7080.0
SwissProt ID	P43699
免疫原	ヒト TTF1 の合成ペプチド

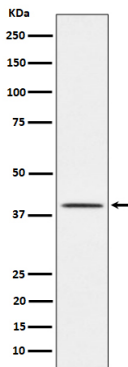
**背景**

チログロブリン、チロペルオキシダーゼ、チロトロピン受容体などの甲状腺特異的遺伝子のプロモーターに結合し、活性化する転写因子。チログロブリン、チロペルオキシダーゼ、チロトロピン受容体などの甲状腺特異的遺伝子のプロモーターに結合し、活性化する転写因子。甲状腺分化表現型の維持に不可欠。肺の発達およびサーファクタントの恒常性維持に役割を果たす可能性がある。GRHL2と共に、肺上皮細胞の形態形成および分化を調整する制御ループを形成する。GNRHRの転写を活性化し、その遺伝子発現の概日振動を増強する役割を果たす。概日転写抑制因子 NR1D1 の転写を抑制する（類似性による）。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



ラット肺細胞溶解物における TTF1 発現のウェスタンブロット分析。